

かしわば

第11号

2006.7

+

+

救急 出入口

脳梗塞の血栓を溶かす 新薬tPAを使った最新治療

かしわばゼミナール
神経内科は「神経の病気」が専門です

おしらせ
医師不在のお知らせ

食べて健康
なす



脳梗塞の血栓を溶かす 新薬tPAを使った最新治療

発症後3時間以内の投与で後遺症が軽減



脳梗塞の死者は2004年の厚生省労働人口動態調査によると年間約8万人。患者は約100万人以上に上ります。そうした中、2005年10月に、脳梗塞の血栓を溶かす新薬『tPA（組織性プラスミノーゲン活性化因子）』が保険適用になりました。当院でも、2005年12月から脳梗塞治療にtPAを使用し、成果を上げています。

脳の血流が悪くなると 脳梗塞に

脳梗塞とは、なんらかの原因で脳の血液の流れが悪くなって、脳の細胞が十分に活動できなくなり、最終的に細胞が死んでしまう状態をいいます。発生する場所によって、麻痺やしびれなどさまざまな症状が現れます。広範に脳梗塞を起こすと、意識障害など症状が重篤になり、死にいたることもあります。脳梗塞に陥った細胞を元に戻すことは

不可能であり、その細胞は時間とともに広がっていきます。

脳梗塞の治療は、血液の流れ戻すことにより、脳梗塞に陥りそうな細胞や脳梗塞周囲の細胞を復活させることです。そのため、どれだけ早く治療を開始できるかが重要になってきます。

tPA治療は 発症後3時間以内に

最近行われるようになった新薬tPAを用いた血栓溶解療法は、有効性が高く評価されています。tPAは、血管に詰まっている血栓（血の固まり）を溶かす働きがあります。

この治療を行った場合、社会復帰できる患者さんの割合は、従来の1.5倍の39%に増加するという臨床結果があり、今後の脳梗塞治療の主軸として期待されています。

一方、血液の流れが元に戻ることによる症状の悪化や、生命の危険につながる可能性もあることから、tPAの使用に際しては、厳密な適応が設けられており、その中の大切な適応の一つが「発症から薬の使用まで3時間以内でなければならぬ」となっています。そのため、脳梗塞の症状が現れたら、早急な来院が必要になります。

私たちの考えていること

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- ・自分の病氣・治療・予後について知る権利があります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

こんな症状が出たら すぐに救急車を!

脳梗塞の症状

- 片方の手足など半身の動きが急に悪くなる
- 突然ろれつが回らなくなる、言葉が出にくくなる
- 片方の目が見えにくくなる、視野が狭くなる
- 突然ふらつき、歩けなくなる
- 意識がなくなる

脳梗塞には脳血栓と脳塞栓の2種類あります。

脳血栓では症状が数日かけてゆっくり出現することが多いのに対し、脳塞栓では突然、意識障害が出てきます。

あなたは大丈夫ですか? ——— 脳梗塞の危険因子

以下の項目に当てはまる人は、脳梗塞にかかる危険性が比較的高いといわれています。

特に夏は、脱水症や夏カゼから脳梗塞になる人が多いので、水分を十分補給しましょう。

- ・60才以上の人
- ・脳卒中の家族歴のある人
- ・動脈硬化、高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病をもっている人
- ・喫煙、大量飲酒、ストレスがある人

柏葉脳神経外科病院では 24時間365日体制で 急患を受け付けています

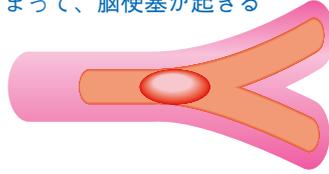
受診の際には、次のものをご用意のうえ、できる限りお付き添いの方と一緒に受診してください。

- 健康保険証
- 診察券（お持ちの方）
- お薬手帳（お持ちの方）

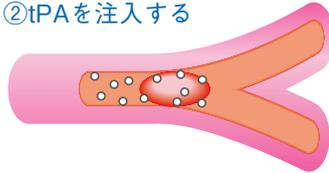
電話 011-851-2333

tPAによる治療:血栓が溶解し、血流が再開するまでのようす

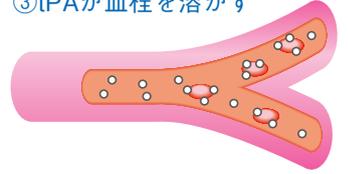
①脳の血管に血栓(血の塊)が詰まって、脳梗塞が起きる



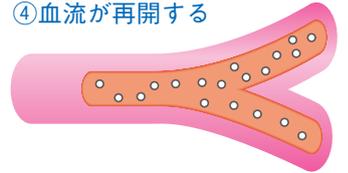
②tPAを注入する



③tPAが血栓を溶かす



④血流が再開する



tPA治療ができれば、後遺症を残さずに元の生活に戻れる可能性が高まります。症状が出たら一刻も早く救急車を呼ぶか、当院へご連絡ください。

しばらく様子を見てから受診というのでは、せっかく治る可能性のある病気も治療のチャンスを失ってしまいます。

脳梗塞を発症すると、半身麻痺や、ろれつが回らない、めまいなどの症状が出ます。ところが、「いつもと違うようだけど、少し様子を見ましょう」「明日、病院へ行きましょう」「救急車を呼ぶほどではないから」と考えて、3時間以内に来院する患者さんが少ないのが現状です。当院においても、発症後3時間以内に受診した患者さんは多くありません。

tPA治療を行う医療機関の条件として、日本脳卒中学会では次の条件を挙げています。

- CT・MRI検査が24時間可能
- 集中治療のため十分な人員を中心とするストロークチームおよびSCUまたはそれに準ずる設備があること
- 脳内出血などの不慮の事故に際し、脳神経外科的処置が迅速に行える体制
- 急性期脳梗塞（発症後24時間以内）治療の経験が十分（例えば年間50例以上）あること

症状が出たら
一刻も早く病院へ

当院は、施設基準を
満たしています

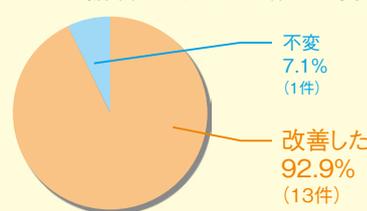
当院におけるtPA治療実績

(2005年12月10日～2006年7月20日)

- ・治療件数 21件（うち死亡1件）
- ・男性 12人、女性 9人（49～83歳）

tPA治療後の経過

(治療後1カ月以上の患者さんを対象)



療を行っています。

2005年12月10日に1件目を治療して以来、7月20日現在で21件の治療を行っています。重症脳梗塞の患者さんで、不幸な転帰をとられたケースが1件あります。が、治療後1カ月以上の経過を観察した患者さんの92.9%が改善しており、極めて良好な治療結果が得られています。

かしわば ゼミナール 第11回

神経内科は 「神経の病気」が専門です

手足のしびれなどの症状を扱っています

脳や末梢神経などの 障害による病気が専門

さまざまな診療科目と 連携して治療します

皆さんは、「神経内科」という言葉を聞いて、どのような病気を治療するところだと思われましたか？ 多くの人が「こころの病気を扱っているというイメージを持っているのではないのでしょうか。

神経内科の病気の原因は神経そのものの異常だけでなく、骨やホルモン、心理的な要因が重なっていることも少なくありません。

「神経質」「神経をすり減らす」といった言葉から、このような連想をしがちなのですが、神経内科の「神経」という言葉は、「こころ・気持ち」という意味ではなく、「全身の各器官・臓器をつないでいる神経細胞」からきています。つまり、

神経内科は、脳・脊髄・末梢神経・筋肉の障害によって起こるさまざまな病気を専門とする診療科目なのです。当院の神経内科では、脳神経外科やリハビリテーション科と連携を取りながら治療にあたっています。必要であれば、ほかの病院の内科・整形外科などと連携することもあり、ひとりひとりの患者さんが適切な治療を受けることができる体制を整えています。

神経内科で扱う病気が、脳の写真や脳波・筋電図などで調べられることも、精神科で扱う「こころの病気」と大きく異なります。

こんな症状があったら
当院の神経内科へ

- ・手や足に力が入りにくい
- ・手足が勝手に動く
- ・手足がしびれる
- ・上手に歩けない
- ・身体が動かしにくく、動作が遅い
- ・けいれんを起こすことがある
- ・筋肉がだんだんと細くなってくる
- ・ろれつが回らない
- ・突然意識がなくなる
- ・物忘れがひどい

NEWS おしらせ

医師不在のお知らせ

誠に勝手ながら、学会などへの出席のため、左記の日程で医師が不在にさせていただきます。

担当医師が不在の場合は、別の専門医が診療にあたらせていただくこととなりますが、ご安心ください。

宜しくお願い致します。

- 7/27(木)～8/2(水)
吉本 哲之 医師
- 8/1(火)～8/6(日)・16(水)
山内 亨 医師
- 8/5(土)～8/11(金)
白坂 智英 医師
- 8/16(水)～8/20(日)
徳田 耕一 医師
- 8/22(火)～8/27(日)
善積 威 医師

食べて健康



ナス

皮ごと食べて、ポリフェノールを摂取しましょう

動脈硬化を防ぐ抗酸化物質

ナスの皮の紫色はアントシアニンという成分。抗酸化物質として知られるポリフェノールの一種で、赤ワインやブルーベリーで注目された栄養素です。眼精疲労や老化に効果があります。血液をさらさらにするので、動脈硬化を予防します。

暑い日のメニューにおすすめ

体を冷やす作用もあるので、暑気あたりしそうな時や体がほてる時に食べると効果的です。

日差しが強くなり、街行く人々の服装もやっと半袖が目立つようになって来ました。行楽のシーズン、祭りに花火、海で山で、と様々なイベントが各地で開催されます。北海道の短い夏を満喫しようとお出かけの機会が何かと増え

編集後記

ることと思いますが、健康チェックはお済みですか？

身体水分不足などから体調不良を起こす方が多いのもこの時期です。何をやるにも、どこに出かけるにも身体が資本、健康管理には十分ご注意ください。(小川)